

第33回日韓・韓日フォーラム共同声明

「日韓国交正常化60周年、過去を越えて共通の未来へ」

第33回日韓・韓日フォーラムが2025年8月18日から20日にかけてソウルで開催された。日韓国交正常化60周年にあたる今年のフォーラムは、昨年東京で開催された第32回フォーラムの特別セッション「国交正常化60周年に向けて」での議論を受けて、安定的かつ未来志向の日韓関係構築の方策を深く検討する場となった。

昨年のフォーラムの議長声明では、「日韓両国には多くの共同の利益と共通の課題が存在すること」を確認した上で、「日韓戦略的パートナーシップを強化することの重要性」及び「これからの日韓関係は、過去だけに拘らず、共通の未来を模索する段階へと前進しなければならない」ことを強調した。今回のフォーラムはこの流れを引き継ぎ、国交正常化60周年を迎えた今日の日韓関係の戦略的意義を深くかみしめ、共通の未来を見すえた持続可能な日韓関係の構築という我々の決意を改めて確認する機会となった。

日韓・韓日フォーラムは、1993年に両国首脳間の合意により創設されて以来、さまざまな提言を発表し、両国間の率直な対話や実質的な協力の促進に貢献し、日韓関係発展の架け橋としての役割を果たしてきた。「2002日韓ワールドカップ共同開催」、「金浦・羽田直行便開設」、韓国における「日本文化開放」などは、本フォーラムで議論され両国政府に提案された代表的な例である。最近では、本年6月に1ヶ月間試験的に導入された「日韓専用入国審査レーン」は、両国関係の友好的な発展を国民が日常的に実感できるようにすべきだという昨年の本フォーラムでの議論が実を結んだ事例であり、本フォーラムとして喜ばしく思う。

国交正常化60周年は、世界が複合的な挑戦に直面している今日の転換期において、両国がより緊密に協力し、共通の未来を設計すべき重要な契機とならなければならない。今回のフォーラムでは、「日韓両国の政治情勢と日韓関係」、「トランプ2.0時代の北東アジア情勢と日韓協力」、「日韓ジュニア・フォーラム」、「グローバル経済の再編と日韓経済協力の未来」、「日韓国交正常化60周年、主要団体による提言―過去を越えて未来へ」の5つのセッションを通し、日韓関係の共通の未来の方向性を模索した。

ここに第33回日韓・韓日フォーラムは、変動する国際秩序の中で日韓両国が協力を通して共通の未来を構築すべきであるというビジョンを再確認し、以下のとおり具体的な方策を提言する。

第一に、日韓両国は、米中間の戦略的競争やグローバルな安全保障環境の変動といった国際情勢の下で、対話と協力を不断に模索しつつ、東アジアおよびインド太平洋地域の平和と安定のために、二国間のみならず、三国間および多国間の枠組みの下での協力の基盤を拡大すべきである。そのために、日韓米、日韓中、IP4（日本、韓国、オーストラリア、ニュージーランド）、東アジア首脳会議（EAS）、ASEAN地域フォーラム（ARF）、アジア太平洋経済協力（APEC）などに臨むにあたって、日韓両国の対話と協力を制度化すべきである。

第二に、日韓両国は、近年拡大している新保護主義や貿易摩擦、そしてサプライチェーンの不安定性に共同で対処し、自由貿易秩序の維持に努めなければならない。この過程でインド太平洋経済枠組み（IPEF）やRCEPに積極的に参加し、韓国のCPTPPへの加盟や日韓FTAの締結を積極的に検討すべきである。同時に、新たな国際経済規範の議論、形成、採択、普及の過程において日韓が共同のリーダーシップを発揮すべきである。

第三に、日韓両国が直面する社会・経済的課題の解決と、先端産業および技術発展などの新たな成長エンジンを創出するため、知識や人材交流における協力および連携の方策を模索すべきである。サプライチェーン、エネルギー、カーボンニュートラル、環境、AI、バイオ、通信、スタートアップ、地方再生、労働、災害等は、日韓協力を拡大できる高い潜在力を有する分野である。そのために、日韓包括的協力協定等の締結を考慮すべきである。

第四に、日韓の文化・人的交流の量的・質的発展のための制度的支援を拡大すべきである。そのために、未来世代のより持続的で体系的な交流に向けて教育と雇用をつなぐ「日韓版エラスムス・ムンドゥス計画」、長期的でグローバルな視点から日韓関係の正確な理解と協力の増進に貢献する人材育成のための「日韓グローバルパートナーシッププログラム」等が検討に値するだろう。また、日韓国交正常化60周年を記念して本年6月に1カ月間だけ実施された「日韓専用入国審査レーン」に類する日韓双方における入国手続きの簡素化および円滑化は、両国国民の相互交流と理解を増進するための最も身近で有効な方策であり、相互主義を前提に、早急に恒久化されることが望ましい。

第五に、日韓間の歴史問題については、対立を乗り越えるために取り組んできた両国国民と政府の長年の努力を正しく理解し、かつ尊重し、相互理解とコンセンサス形成のための共同行動を通じて克服していくよう努める。両国国民の相互不信と誤解が日韓関係悪化の根本的な要因であることを直視し、さまざまな分野での対話と交流を通じて、両国国民間の相互理解を深めていかなければならない。

日韓・韓日フォーラムは、国交正常化60周年を迎えたこの重要な転換期において、民間の対話を通して両国国民間の相互理解と共感を増進するという創設当時の精神を継承し、変動する国際秩序の中での日韓関係の新たなビジョンの設計と日韓協力の発展のために、今後も引き続き努力していく決意である。

2025年8月20日

日韓・韓日フォーラム参加者を代表して

韓国側議長 柳 明桓



日本側議長 小此木 政夫

議長代行 長嶺安政

